

医科学専攻修士課程

2025年4月入学 パンフレット

大阪医科薬科大学 医学研究科 医科学専攻修士課程

Osaka Medical and Pharmaceutical University
Graduate School of Medicine

Master's Course



2025



大阪医科薬科大学

医科学専攻修士課程 <Master's Course>

「医学・医療の知識・研究法の現場での活用力」と
「多様なキャリアパスを切り拓く能力」を修得する機会をご提供
「医療科学コース」と「SDGs/SDH コース」……………

2つのコースで研究開発・医療福祉の現場における問題解決力を段階的に養成します。

医療科学コース／大学病院・実験施設を活用した演習を主体とする

大学病院や研究施設での演習中心のカリキュラムを通して、各学生がこれまでに修得してきた専門領域を実地医療の課題解決に活用できる能力の獲得を目指します。

[専門科目]

検査診断学演習／治療学演習／医科実験演習／医療機器開発概論

SDGs/SDHコース／実地に根差した多様な科目を有する

持続可能な社会に貢献することを目標に、データを理解し、社会的な視点を持ち、健康に関わる研究・事業の計画立案や評価ができる能力の獲得を目指します。

[専門科目]

病院災害危機管理総論／急性期・慢性期医療総論／多職種連携と病診連携総論／公衆衛生学・疫学の基本／社会健康医療データ・サイエンス演習／健康の社会的決定要因と持続可能な開発目標

1:理論編(社会・行動科学概論) 2:実践編

※次世代のがんプロフェッショナル養成プランに採択されました

社会人入学制度

働きながら学べる制度があります。

本学修士課程では、大学院設置基準第14条に定められている「教育方法の特例」の制度を適用して、夜間(17時以降)を中心に開講しています。またハイブリッドによる開講など、柔軟な授業形式を採用しています。

【社会人入学試験】

お仕事をしながら受験される方のための試験です。

(勤務先の承諾は必要です)

【長期履修制度】

お仕事をしながら就学される場合、修業年限より長く在学して学べる制度があります。

(長期履修分の学費は不要)

教育訓練給付制度

一般教育訓練の講座指定を受けました。

教育訓練給付制度とは…

働く方々の主体的な能力開発やキャリア形成を支援し、雇用の安定と就職の促進を図ることを目的として、厚生労働大臣が指定する教育訓練を修了した際に、受講費用の一部が支給されるもので、本学修士課程の両コースは一般教育訓練の講座指定を受けており、修了後、申請手続きをすることで、支給を受けることができます。(入学金と授業料の一部)

受給には一定の条件があります。詳しくは「教育訓練給付制度」で検索してください。

※2024年度入学者から対象となります。



厚生労働省
教育訓練給付制度

対象者 本学は次のような方々のキャリア形成に役立ちます。

- 工学部など理系学部出身者(機器・素材など)
- 医療機関勤務のメディカルスタッフ
- 地域行政の担当者
- 保健医療、社会の安心・安全について学びたい方
- 地域医療の従事者
- 保健、福祉に携わる方
- 看護学部など医療系学部出身者

修了後のキャリアモデル

医療機器・素材関連企業／元の職場でのキャリアアップ／保健医療機関／ヘルスサービス関連企業／行政機関／教育機関／大学院工学研究科博士課程／大学院医学研究科博士課程*／大学院看護学研究科博士課程

※本学の医学研究科 博士課程に進まれる場合、入学金が免除になります。

2025年4月入学 入試情報

大阪医科薬科大学 大学院医学研究科
医科学専攻修士課程



募集定員(4名)

研究科名: 医学研究科

専攻名 : 医科学専攻修士課程 コース: 医療科学 / SDGs / SDH

入学試験

入学試験は、専門科目試験及び面接試験、外国語(英語)試験、出願書類等を総合して判定します。

<10月入試>

月日	時間	試験内容	備考
2024年10月4日(金)までに志望する 各教室で実施		専門科目及び面接	詳細は指導教員と事前に相談
2024年10月5日(土)	9時30分～11時30分 (120分)	外国語(英語)	辞書持込可(電子辞書不可)

<1月入試>

月日	時間	試験内容	備考
2025年1月10日(金)までに志望する 各教室で実施		専門科目及び面接	詳細は指導教員と事前に相談
2025年1月11日(土)	9時30分～11時30分 (120分)	外国語(英語)	辞書持込可(電子辞書不可)

出願期間

[10月入試] 2024年 7月22日(月)～2024年 8月19日(月)必着

[1月入試] 2024年11月18日(月)～2024年12月16日(月)必着

※10月入試の結果によって、1月入試を実施しない場合があります。

出願書類

- ① 入学願書
- ② 志望理由書
- ③ 成績証明書
- ④ 卒業(見込)証明書
- ⑤ 受験票・副票
- ⑥ 入学検定料振込証明書貼付台紙※
- ⑦ 受験及び就学承諾書
- ⑧ 長期履修申請書(希望者のみ)
- ⑨ その他(戸籍抄本、在留カード写し等、該当者のみ)

※ 入学検定料(30,000円)を出願期間内にお振込いただく必要がございます。

* 所定様式を医科学専攻修士課程ホームページから
ダウンロードできます。
[https://www.ompu.ac.jp/admission/graduate/
medical/master.html](https://www.ompu.ac.jp/admission/graduate/medical/master.html)



合格発表

[10月入試] 2024年11月 1日(金)9時

[1月入試] 2025年 1月31日(金)9時



出願資格

〔一般入学試験〕

入学時点で就業見込みが無い者で、次のいずれかに該当する者とします。但し、出願資格(8)による場合は、出願前に出願資格審査の受審が必要です。

- (1)学校教育法第83条に定める大学(以下、「大学」という)を卒業した者及び2025年3月卒業見込みの者
- (2)大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び2025年3月までに授与される見込みの者
- (3)外国において学校教育(日本において、外国の大学が行う通信教育を履修する場合も含む)における16年の課程を修了した者及び2025年3月までに修了見込みの者
- (4)日本において、文科大臣が指定した外国大学日本校の16年の課程を修了した者
- (5)外国の大学等において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (6)昭和28年文部省告示第5号をもって文部科学大臣の指定した者
- (7)専門学校のうち、修業年限が4年以上等の要件を満たした者で、文部科学大臣が認めた課程を修了した者及び2025年3月までに修了見込みの者
- (8)本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2025年3月31日現在において22歳以上の者

〔社会人入学試験〕

本入学試験において対象となる社会人とは、入学時に病院、教育・研究機関、企業等において既に就業している者、または、入学時点で就業が見込まれ、入学後も引き続きその身分を有する者となります。

出願資格は一般入学試験出願資格に準じます。

出願資格審査(該当者のみ)

出願資格(8)による出願希望の場合、事前に出願資格を審査しますので、学務部医学事務課(大学院担当)まで事前連絡のうえ、入学検定料等振込書を除くすべての出願書類を提出してください。

出願資格審査後、申請者に結果を通知します。結果通知後、出願を許可された者は、検定料を本出願締切日までに振込ください。出願資格審査申請時提出した書類は出願書類に充当します。

申請期間

[10月入試] 2024年 6月 3日(月)～ 2024年 6月17日(月) 必着

[1月入試] 2024年10月 7日(月)～ 2024年10月21日(月) 必着

※10月入試の結果によって、1月入試を実施しない場合があります。

学費等

	初年度学費(入学金含む)		2年時以降学費 (年額)
	第1期 (入学時)	第2期	
入学金	230,000円		
授業料	180,000円	170,000円	350,000円
教育充実費	70,000円	80,000円	150,000円
合計	480,000円	250,000円	500,000円

※入学時納入金：480,000円

大学院入試に関するお問い合わせは 学務部医学事務課(大学院担当) まで
〒569-8686 大阪府高槻市大学町2番7号(本部キャンパス)
電話: 072-683-1221(代表)/ 2785・3034(内線) E-mail: ompu-gs@ompu.ac.jp

※掲載の情報は2024年6月1日時点のものです。

変更事項等はホームページに掲載します。最新の情報はホームページにてご確認ください。

● 教員からのメッセージ ●



衛生学・公衆衛生学教室
玉置 淳子 教授

ご自身が現場で培った感覚、問題意識や経験知を仮説として設定し、衛生学・公衆衛生学・疫学的手法等を使って検討するプロセスを通じてエビデンスの形とし、提言に繋げる。そんな機会や経験を提供したいと思います。



胸部外科学教室
根本 慎太郎 専門教授

幅広く医学研究と実地臨床の現場を体験する機会を提供します。今までのキャリアを活かした医療イノベーションを起こして世の中を変えて行きましょう！



社会・行動科学教室
本庄 かおり 教授

教室では社会経済状況、ソーシャルキャピタル、ジェンダー、社会的サポートなどの社会要因が健康へ与える影響について、疫学データを統計解析し、研究しています。健康の社会決定要因、社会疫学に興味のある方、是非一緒に研究してみませんか。



リハビリテーション医学教室
佐浦 隆一 教授

今、医療や福祉・介護領域では領域横断的な課題が増えています。医科学専攻修士課程では、その課題解決に必要な分野・職種横断的な連携や研究手法、ICTや生成AIの利用・活用(デジタルトランスフォーメーション)の可能性などを学びます。あなたの挑戦を待っています。



医学研究支援センター 医療統計室
伊藤 ゆり 室長

これまでのご経験の中で皆さんが関心をもった社会課題に対し、統計学やデータサイエンスの技術で解決に導く力をつけませんか？ 様々なバックグラウンドの学生さんから刺激をいただいています。皆さんの自由な発想のもとに生まれた研究課題と一緒に取り組みたいと思います。

● 受講者からの声 ● (抜粋:2023年度修了者アンケートより)

指導教員からの指導の
満足度
100%

専門科目コース科目の
満足度
100%

教育内容(全般)の
満足度
100%

専門科目、共通科目の
満足度
87.5%

自発的に取り組むことの
重要性を再認識できた

専門分野のみの視点に偏らず、
医療に関わる多職種の視点が
加わる中で研究できたことで、
見識を広げることができた

マンツーマンで
授業を受けることができ、
とても贅沢な
学びの環境だと感じた

● 修了生からのメッセージ ●



新しい世界での充実した2年間 ——
博士課程1年生 医療統計学(2023年度修士課程修了)
川崎 由華 さん
【一般社団法人 がんライフアドバイザー協会 代表理事】

私は医療機関内でがん患者の就労面、経済面の相談に応じ、学会発表を重ねる中で、がん罹患による社会的苦痛の複雑さと、自分のデータ解析力不足を感じ、修士課程に進学しました。

レセプトデータや解析ソフトを扱うことは初めてでしたが、医療統計室の指導教員の先生方が丁寧にご指導くださり、ビッグデータを用いてがん患者の就労支援に関する研究に組み込むことができました。

また、臨床医や学内外の研究者の先生方による講義や、博士課程の先輩方とのディスカッションによって、実務にも活かせる医療知識も得ることができ、これまでの私には得られなかった世界での充実した2年間でした。

博士課程ではこれまでの学びを活かし、経済面へ展開させた研究を進めていきたいと思っています。



健康をより多角的な視点で捉える ——
修士課程1年生 SDGs・SDHコース(2024年度入学)
伊部 功記 さん

私は以前、鍼灸師として生活習慣病などの慢性疾患の治療に携っていました。しかし、治療だけでは根本的な解決には至らず、健康をより多角的な視点で捉える必要性を感じ、本学への進学を決めました。現在はフルタイムの学生として、社会・行動科学教室に所属し、疫学的視点から社会と健康の関連について学んでいます。当初は、全く新しい分野に不安を感じましたが、教室では指導教員との距離が近く、疑問点があれば親身に相談に応じていただけるため、無理なく学習を進めることができています。新たな分野での学びは、これまでにない視点や知識を得る機会となり、充実した学生生活を送れる環境に感謝しています。



Q なぜ、大阪医科薬科大学(現在の教室)を選びましたか？

A 私は医学分野を学んだ経験がなく不安だったのですが、志望教室の相談で指導教授が親身にに応じてくださり、社会人や他分野の人にも開かれた指導が受けられると感じたためです。

Q 特徴はどんなところだと思いますか？

A 社会人にとって学びやすい環境が整っていることです。3年間の長期履修制度を活用し、仕事や育児とのバランスを指導教員と相談しながら研究を進められています。

Q 今まで受講して印象に残った科目と、その理由を教えてください。

A 社会・行動科学の講義が印象に残りました。病気の原因の原因に目を向け、課題を考えることで疾病や健康に関する知見が広がりました。

Q 現在、どんな研究をしていますか？

A 現在、私は既婚女性における家事・育児負担が精神健康に及ぼす影響に関する疫学研究に取り組んでいます。大学院の講義で社会規範が健康に与える影響について学び、特に性別役割規範が強く影響する家庭内の問題による健康への影響について考えてみたいと思ったからです。私自身がパートナーと子どもを持つ家庭であり、身近なテーマを選びました。

Q 学びなおしで得た知識を、今後どのように活かしたいですか？

A 特別研究の指導を通じて疫学研究の基礎から始め研究の進め方を学んでいます。研究に必要な知識、考え方、手法を習得し、社会の健康増進に貢献したいと思っています。

Q 入学を希望される後輩にひと言お願いします。

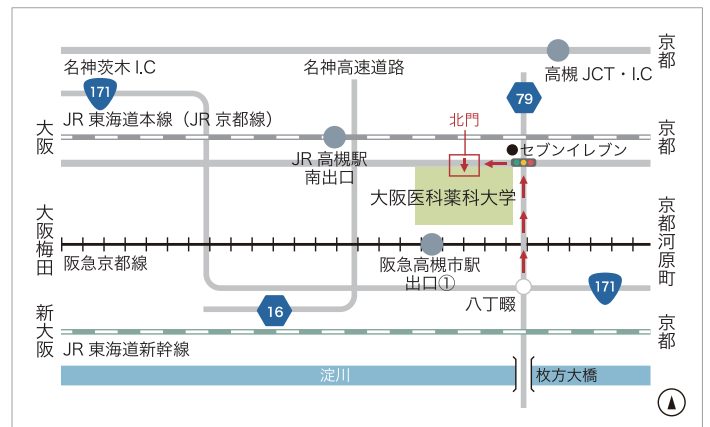
A 教室を選ぶ際に色々な大学の教室を訪れて相談することをおすすめします。ご自身が関心のあるテーマや生活スタイルに合った教室をきっと見つけられると思います。

ACCESS MAP アクセス情報



駅からキャンパスへ

JR東海道本線(JR京都線)「高槻」駅下車 南口より徒歩8分
 阪急京都線「高槻市」駅下車 出口1よりすぐ



お車で越しの場合

【一般道をご利用の方】

国道171号線[八丁畷]交差点から府道79号を北上。
 陸橋の手前、セブンイレブンのある信号を左折し、北門より入構ください。
 構内の立体駐車場(有料)が利用可能です。

お問い合わせは

大阪医科薬科大学 学務部医学事務課 (大学院担当)
 〒569-8686 大阪府高槻市大学町2番7号
 TEL:072-683-1221 (代表)
 E-mail ompu-gs@ompu.ac.jp



医学研究科修士課程
 トップページ



お問い合わせ
 メールアドレス



OMPU
 Sustainable
 Development
 Goals

私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。